

# PROFILE

## ◆辻本 哲士 (つじもと てつし)

滋賀県立精神保健福祉センター所長・滋賀県立精神医療センター精神科部長・滋賀県健康医療福祉部障害福祉課主席参事。平成3年3月に滋賀医科大学医学部大学院を修了。滋賀県や京都府の精神科病院に勤務。平成5年4月から滋賀県立精神保健総合センター（今の滋賀県立精神保健福祉センター・精神医療センター）で、一般精神科や思春期精神医療、地域保健活動等に従事している。

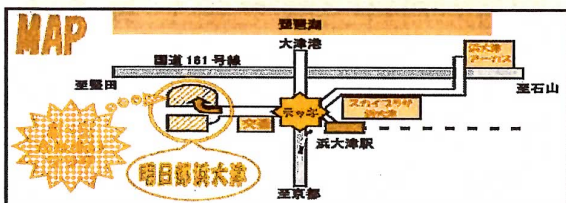
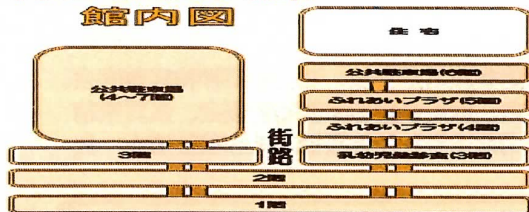
## ◆シンポジスト (しんぽじすと)

- ◆永井 茂一 (ながい しげかず) 株式会社ピアライフ 代表取締役。大津市で不動産会社を営むとともに、滋賀県中小企業家同友会福代表理事を務める。障害者雇用の促進をはじめ、多様な人たちが多様な役割を果たし、共に支え合う企業づくりを進めるとともに、誰もが共に働き、共に暮らせる当たり前の地域社会の実現に向けてさまざまな地域貢献活動を展開。
- ◆中川 佑希 (なかがわ ゆうき) 1990年 1月4日生まれ。京都市出身。北大津養護学校高等部時代に全国障害者スポーツ大会出場 種目：ビーンバックバック投げ・スラローム (H19秋田H20大分H21新潟)2010年6月から大津市内でアパートを借り自立生活を開始。まちかどプロジェクトに所属し、学校や公民館などで人権啓発の演劇や講演活動を行う傍ら立命館大学の学生らとサークル「VAN」として活動。さまざまな活動をしている障害当事者へ取材やイオンモール草津でファッションショーを開催。その他 漫才コンビ「でんでんくるくる」として滋賀県内のイベント出演。「ナガタ喜劇塾」1期生として活動 現在、障害者差別ないおおつを目指す会代表。
- ◆奥村 寛之 (おくむら ひろゆき) 大津市社会福祉協議会 自立支援グループ職員。社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員。龍谷大学社会学部地域福祉学科卒業。高齢者福祉施設ソーシャルワーカー、在宅介護支援センター、大津市地域包括支援センターでの勤務を経て、平成25年4月より、現職。地域福祉権利擁護事業、法人後見事業を担当し、高齢者・知的障害者・精神障害者が安心して地域生活が送れるよう、財産管理や身上監護等の支援に携わる。
- ◆種村 直典 (たねむら なおふみ) 医療法人藤樹会 精神障害者地域生活支援センター オアシスの郷・やすらぎ(統括)支援センター長。大学卒業後、心理カウンセリングを専門的に学んだあと精神保健福祉士を取得。精神障害者の支援については「支障なく生活が送れているのか？」に焦点を当てた支援を基本としており、精神障害者の「日常生活の苦しみに寄り添い、本人らしく生きることを尊重し共に歩む」ことが支援姿勢。「障害者の生活に必要な、だれもやらないなら、自分達でやる」と現在は精神障害者の住居確保問題を第一課題としている。

## ◆コーディネーター (こーでいねーたー)

- ◆尾畑 聡英 (おはた としひで) 特定非営利活動法人 滋賀県精神障害者家族会連合会 理事長。精神障害のある人同士のつながり「ピアネットワークinしが」を展開。そのネットワークで集まった仲間たちで3年前に「ぴあ☆らぼ」(就労継続支援B型事業所・大津市和邇今宿892-3)を開設。精神障害のある人の住まいの確保、障害間格差(JRなど交通機関運賃)が課題となっている現状を受け、全国の各精神保健福祉関連団体や、民間事業者と連携を取りながら、啓発活動を行っている。

### 明日都浜大津 館内図



### 【会場へのアクセス】

- ◎ 公共交通機関でお越しの場合  
「京阪浜大津駅」下車 徒歩3分  
「浜大津バスターミナル」から 徒歩3分  
「JR東海道本(琵琶湖)線 大津駅」下車 徒歩15分
- ◎ 駐車場のご案内  
施設の駐車場ございます。  
障害者手帳を受付にご提示頂きましたら、イベントにご参加頂く方は、3時間30分無料になります。